武　一　中

平成２７年　１１月２日
武蔵野市立第一中学校

URL：http://www.musashino-city.ed.jp/~gakkou101

学校だより２７－７号

平　和　の　大　切　さ

戦後７０年を迎えた今夏（８月８日～９日)、武蔵野市の平和事業の一つとして、市内の中高生８名が「長崎市青少年ピースフォーラム」に参加しました。青少年ピースフォーラムは、毎年、長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典に合わせて開催されているもので、全国の青少年と長崎市の青少年が一緒に被爆の実相や平和の尊さについて学び、交流を深める事業です。一中の１年生の塩澤真理さんも平和交流派遣団の一人として長崎市に派遣されました。今回はその貴重な体験を塩澤さんに作文にしてもらいました。先日行われた３年生のポスターセッションでも「平和の大切さ」をテーマとした班もあり、それぞれに自分の意見を発表していました。皆さんにも「平和の大切さ」を改めて考えてほしいと思い、塩澤さんの作文を紹介します。

「Peace Communicator」を目指して

塩澤　真理

私は今年の夏休みに、武蔵野市の平和交流派遣団に参加させていただきました。平和交流派遣団とは、武蔵野市代表として、実際に長崎へ行って、平和の大切さや戦争の悲惨さについて学ぶというものです。

長崎に行く前にも、事前学習会が３回あり、また、長崎へ行った後も一緒に行った仲間と戦争について学べるとても良い経験になりました。

私には３歳年上の姉がいます。私がこの行事に参加させていただいたのも、姉のある一言がきっかけでした。

私の姉は、以前この行事に参加させていただいたことがあり、「平和とは何か」ということを学べるとてもよい経験になったそうです。そんな姉が長崎から帰ってきて、一番この行事に参加して良かったと思ったことは、「被爆経験者の方々から話を聞くことができた」ということでした。私はその言葉を聞き、「私も戦争の真実をこの耳で聞きたい」と思い、この行事に参加させていただきました。

経験者の話を聞くことができたのはピースフォーラムの１日目でした。ピースフォーラムでは、同世代の中高生たちと平和について話し合ったり、経験者の話を聞いたりしました。戦争の話をしてくださったのは、中村一俊さんという方でした。中村一俊さんは、**「一人でも多くの人に原爆の話を聞いてもらい、次世代へと伝えていってほしい。そして、１日でも早く核兵器をなくしてほしい。」**とおっしゃっていました。私は経験者の方々から原爆の落ちた時の話を伺い、核兵器の恐ろしさや平和の大切さを改めて実感することができました。

ピースフォーラム２日目では、１０名ぐらいのグループに分かれて、平和についての意見交換会を行いました。そこでは、平和な世の中にするためには、今の私たちに何ができるかについて考え、様々な意見を出し合い討論しました。私は、たくさん出た意見の中で「平和の大切さや戦争の悲惨さを次世代に語り継いでいく」という意見が強く印象に残りました。なぜなら、最近、被爆者健康手帳を持つ人の平均年齢が８０歳を超えたということが新聞記事でも話題になっていたからです。そのため、これからは私たち若い世代が核兵器の恐ろしさを次世代に伝えていかなければなりません。

被爆経験者にとって、戦争は二度と起こってほしくないとても恐ろしいことで、１分１秒でも早く復興を願っていたに違いありません。長崎では、原爆が投下された悲惨な何もない状態から、わずか

（裏面に続く）

１０年後には復興を願って平和式典を行っていたそうです。広島でも、原爆を投下されてからわずか４日後には、女学生が復興に向けて電車を動かしていたそうです。何もないところから、復興に向けて皆で力を合わせて成し遂げていったということはとてもすばらしいことだと思います。私は、原爆を投下されて何もなくなってしまった状態の写真を見ながら、日本人の生命力の強さを感じました。

この長崎の平和交流派遣団で学んだことを、次世代に伝えていくためにも、一人でも多くの人に原爆の話を聞いてもらい、平和を守ることが大切なのだと思います。一人一人が今できることをやっていくことが大事なのです。それが平和へとつながる第一歩になっていくのだと思います。そのためにも、一人一人が「Peace Communicator」として、次世代へ、戦争の悲惨さというものを伝えていかなければなりません。

10 月 17 日（土）　**一中フェスタ　開催**

Enjoy! 一中フェスタ　地域の絆を深めよう

10 月 17 日（土）、学校公開・一中フェスタが開催されました。一中フェスタは、青少協（第一地区・井之頭地区）を中心に地域の方々やＰＴＡの皆さんにご協力いただき、生徒の体験活動と交流活動を通して、地域の絆が深まる一中独自の行事です。夏休み前からフェスタ実行委員と青少協の皆さんが何度も企画会議を開き、準備を進めました。

当日は午前中、２６講座で８０人以上の講師の方々のご指導のもと、充実した体験活動を行いました。午後はエレキギター・ダンス・ジャグリンクの体験発表会やフェスタ合唱団の合唱・交流活動（武蔵野クイズ・一中伝統のゲーム）・吹奏楽の演奏が行われました。そして、閉会式では、実行委員による劇が披露され、最後には光の矢がくす玉にあたる（？）というフィナーレで締めくくられました。

たくさんの方のご協力で地域の絆が深まった一日になりました。今後とも地域・保護者の皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

【一中生の活躍】　（敬称略）

バドミントン　第９ブロック武蔵野・三鷹バドミントン新人大会

団体戦　準優勝　　井澤咲耶・大和夕麻・林　莉子・井上　蘭・松田京佳

個人戦　シングルス　第３位　林　莉子　　ダブルス　　準優勝　井澤咲耶・大和夕麻

水泳　　多摩地区中学校水泳競技大会

女子 400m 自由形　　第２位　　東條　環（5’28”98）　第６位　　福原　麗（5’52”03）

女子 100m 自由形　　第４位　　岡野かほる（1’10”27）

女子 200m 自由形　　第２位　　東條　環（2’34”48）

女子 100m 個人メドレー　　第２位　岡野かほる（1’23”06）

陸上　　東京都中学校支部対抗陸上競技大会出場（武蔵野市代表）

走幅跳　　高清水　香　　100m ハードル　　東條　環

柔道　　多摩ブロック中学校新人体重別選手権大会　優勝・東京都中学校新人体重別選手権大会　第２位

安藤健志

剣道　　東京都中学校秋季剣道大会出場（多摩ブロックを勝ちあがり出場）

水上智春・尾関正行・中村基一朗・上林　玄・佐々木泰大・高橋信太

ソフトテニス　　第９ブロックソフトテニス新人大会

男子　ダブルス　第３位　　山賀祐希・若杉周平（都大会出場）

女子　団体　第３位　小原光琴・渡邉春花・佐野花菜子・吉江優実・肥后彬歩・宮田佳代・川村柚実・宮田信恵

（都大会出場）